

平成29年度在宅医療・介護連携推進事業 第2回在宅医療・介護連携推進委員連絡協議会開催

H30年3月20日に第2回事業推進委員連絡協議会を開催
1年間の事業報告と新年度に向けての活動について、花牟禮推進委員長
により協議が進められました。



今年度最終の協議会において開始冒頭に市長よりあいさつがありました。
本事業推進に向けて、医師会ははじめ地域医療、介護関係機関の専門的ノウ
ハウを生かして進めて頂いていることに感謝の意を表する、今後も多職種
の専門的知識を持って助言、提案を頂き協力を仰ぎたいと述べられました。

【協議内容】(記録一部抜粋)

- ・在宅医療体制構築を進める上で地域住民への広報は重要と考えている。
広報の具体策としてのアクションが課題である。ターゲットを何処に置くか、年齢層も
含めて広報の手段を検討すべきである。
- ・行政からは、社会福祉協議会へ委託している生活支援コーディネーターの支援事業を通して
各公民館単位で地域包括システムの形について伝える事を計画している。その機会に合わせ
て在宅医療についても事業協力して広報して頂きたいと考えている。
- ・鹿児島振興局伊集院保健所から、現在医療圏域を超えて、医療介護の連携として退院支援
ルールの運用を進めているが、医療機関内で周知する手段として寸劇を行って、関係スタッフ
への周知や理解を深めている。と聞いている本地域でも一つの方法として検討してはどうか・・

多職種代表である推進委員により、新年度に向けた取り組みについて活発な意見や具体策が協議されました。新年度の事業推進に向けてた有意義な会議となりました。

【閉会のあいさつ 医師会 丸田修士先生より】

いちき串木野市は、行政と医師会の連携が図れており本事業も他地域と比較すると進んで来ていると感じている。今後本事業に参加していない施設等へどう伝えて行くかが課題と思う。MCSも含めて若いスタッフやケアマネ等の研修参加を積極的に進めて人材を育てていく事も一つの方法と考える。